

<<入院診療計画書・退院療養計画書>>

食物負荷試験を受ける患者さまへ

患者氏名 〇様 病名： 症状： 主治医： 〇 印 受け持ち看護師：

月日	1月0日		
項目	検査前	検査中	検査後
達成目標	検査を受ける準備ができる	アレルギー症状が見られない アレルギー症状の悪化が起こらない 安全に検査を受ける	アレルギー症状が見られない もしくは軽減し、退院できる
治療・薬剤 (内服)	入院前に薬の確認を行います。 薬物治療について文書を用いて担当薬剤師が説明します。	アレルギー症状が出現した際は薬を投与する場合があります。	退院後内服する薬が処方される場合があります。
活動・安静度	・全身状態の確認のため、胸と指にモニターを装着します。	・医師の指示に合わせて負荷食物を摂取します。 ・(15分 ・ 30分) おきに体温や血圧、皮膚の状態などの観察を行います。 ・60分で負荷量の変更をします。 ・試験中はなるべくベッド上で静かに過ごしてください。	・約2時間、アレルギー症状が出現しないか観察します。 ・強いアレルギー症状出現時は入院期間が延長する場合があります。
食事	 ・特別な栄養管理の必要性：有・無 ・栄養管理が必要な場合は、文書を用いて管理栄養士が説明します。 ・指示されたもの以外は摂取しないでください。 ・お水やお茶など飲水は可能です。		
排泄	・制限はありません。 ・必要時、看護師がお手伝いします。 		
患者様および ご家族への 説明	・経口負荷試験同意書の確認をします。 ・検査の流れについて説明します。	・発疹、掻痒感、くしゃみ、咳、鼻水、吐き気・嘔吐、不機嫌が出現したらすぐにお知らせください。	・退院前に医師の診察があります。 ・試験当日は激しい運動や入浴は控えてください。 ・帰宅後もアレルギー症状が出現する恐れがあるため、外出はお控えください。食事はいつも通りで大丈夫です。 ・帰宅後、皮膚症状が出た際は渡された薬を内服してください。嘔吐や腹痛、喘鳴、意識障害出現時は外来にご連絡ください。

注1 場合によっては内容を変更することがあります。
リハビリテーション・退院支援が必要な場合は、文書を用いて説明します